

# 活動の記録（2期生の皆さん）＜平成18年6月～7月＞

平成18年度に応募された2期生の皆さんは、以下の講習・実践活動を行いました。

## 講習会

水源林の保全に必要な基礎的な知識習得のため、2回に分けて講習を行いました。

**<第1回>**  
 日時：平成18年6月17日(土)  
 場所：水道局7階大会議室  
 講習内容：  
 福岡市の水道と水資源  
 水源林の役割と管理  
 日本（九州）林業の現状と問題点



福岡市の水道についても学びました。



皆さんとても真剣です。

**<第2回>**  
 日時：平成18年7月1日(土)  
 場所：曲淵水源事務所、水道局7階大会議室  
 講習内容：  
 ダムのしくみと役割  
 森の現状（自然観察）  
 安全な作業  
 救急・安全に関する基本的事項



きき水にも挑戦しました。



ダムでは、見学と自然観察を行いました。



安全な作業のための道具についても学びました。

## 下草刈り：7月22日(土)

講習後、初めての实践活动は下草刈りでした。植え付けた苗が草に負けないようになるまで（5～7年くらい）は、下草刈りが必要です。育林作業の中で、もっとも過酷な作業ですが、幸にも当日は、雨交じりの曇天で、暑くもなく、蚊にもなやまされずに、快適に作業ができました。



大カマを手に草を刈ります。



作業後の道具の手入れも大切です。

## ボランティアの声

森へ入った、東京出張時に何度も上空から見た森である。上から見た感想は「箱庭」。しかし、一歩足を踏み入ると予想以上に広く大きい。下草刈りの現場に着いた。元棚田のため足場は非常によく、作業は楽で意外と楽しい。「黙々と作業する人が多いですよ。」と言われていたが、納得。しかし、この人数で作業しても1haにも満たないことが森林保全に係る問題の深刻さを物語っていることを痛感した。(1班 アイロニム)  
 夏場の気候に配慮して約1時間の作業でしたが、約0.7haの面積を予定より早く終わりました。下草刈りのきびしさは、来年に持ち越しですね。(担当)

## 編集後記

ボランティアの募集を始めて2年目となる今年は、1期生の講習・実践活動に加え、2期生の募集や登録、講習・実践活動とあわせて過ぎて行きました。ボランティアの皆さんには、十分に行き届かなかったことも多かったと思います。  
 1・2期生の皆さんは、まだ一緒に作業する機会はありませんが、今後揃って作業できることもあるかと思えます。きつい作業ばかりですが、作業後の皆さんの笑顔を励みに、共にいい汗を流しましょう。安全第一で！（亀）

## 【お問合わせ】

福岡市水道局流域連携課  
 TEL：092-483-3194  
 FAX：092-483-3252  
 Eメール：  
 ryuiki.WB@city.fukuoka.jp



实践活动の主な拠点となっている曲淵ダム。今年は、雨量が豊富で、いつも、滴水の美しい姿を見せてくれました。

# 水源林ボランティアだより

Vol.3

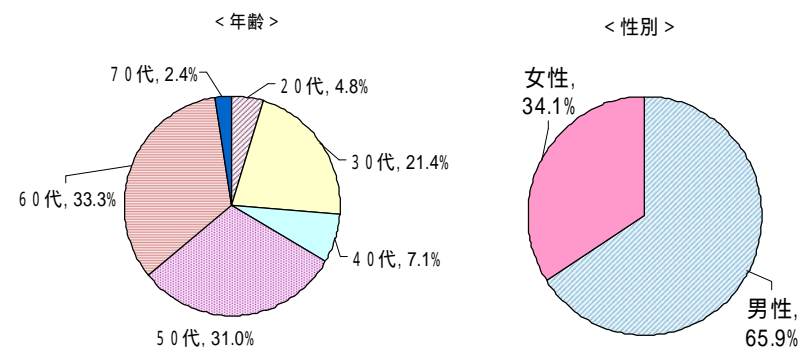
2006.12.1発行

安全でおいしい水を次世代へ繋ぐために、水源林の保全活動を実践しています。

## ボランティア2期生40名が誕生

福岡市水道局では、水源林の保全活動を行う人材を育成するため、平成17年度から、市民ボランティアを募集し、講習等を行っています。  
 18年度には、17年度に募集した1期生65名に加え、2期生40名が新たに加わり、現在、総勢105名が、それぞれのカリキュラムに従い、水源林を守るための基礎的な知識や技術の習得等に取り組んでいます。

## ボランティア2期生の構成は？



2期生の皆さん

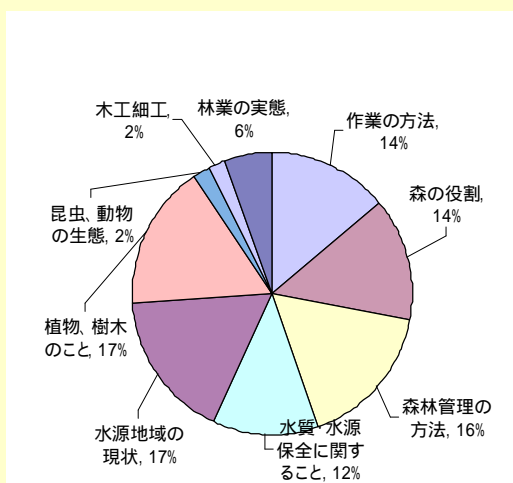
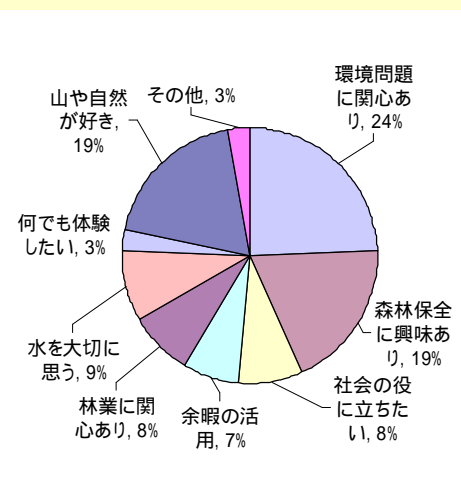
2期生の皆さんは、1期生同様50～60代が中心（平均年齢51歳）ですが、その約3分の1を女性が占めており、とても華やいた雰囲気です。

写真は7/1の講習時に撮影したもので、残念ながら、当日欠席の方は写っていません。

## ボランティア2期生アンケート結果より

応募された主な動機は？（複数回答）

講習・実践活動から学びたいことは？（複数回答）



- アンケート集計結果から、ボランティアに応募された2期生の皆さんは、環境問題や森林保全に関心が高く、心から山や自然を愛する方という姿が伺えるようです。
- 学びたいことは、森林管理や作業の方法、水源地域の現状などと幅広く、これから3年間の講習期間に多くのことを学んでいただければと思っています。